

資料No.「業務1-4」
防災業務アプリケーションユニット標準仕様
防災情報共有
【機能一覧】

V1.3

平成29年4月



一般財団法人全国地域情報化推進協会

目 次

本書の位置づけ	1
機能一覧	2

本資料の位置づけ

本書「防災業務アプリケーションユニット標準仕様 防災情報共有【機能一覧】」は、各業務ユニットに含まれる機能を定義し、その機能の内容を説明したものである。

機能は階層構造で定義されており、最下位の機能レベルは、一般的な機能の単位としての機能を、上位の機能レベルは、下位レベルの機能をグループ化したものである。

各業務ユニットを実装するにあたっては、本機能一覧と階層構造は異なってもよいが、少なくとも最下位レベルで定義された機能を持つことが必要である。

<<準拠ルール>>

： 各業務ユニットは、本機能一覧で定義される、最下位レベルの各機能を持つこと。

なお、機能のグループや階層構造は機能一覧の内容と異なってもよい。（必須） [1.4]

機能一覧		業務名
		防災情報共有
機能（レベル01）	機能（レベル02）	機能説明
1.1.登録	1.1.1.自動登録	各団体から動的に格納されるデータを登録する(都道府県や関係機関への報告情報の登録も含む)
	1.1.2.手動登録	予め登録しておく静的なデータ(ex 避難所情報、自治体基礎情報等)を手動で登録する
	1.1.3.変更・更新	登録されているデータの変更・更新や欠落したデータを追加する
1.2.削除	1.2.1.登録データ削除	登録されているデータを手動で削除する
1.3.参照	1.3.1.データ参照	団体職員が登録されているデータを参照する、又はLアラートへの情報配信を行う ※ Lアラートは(一財)マルチメディア振興センターが運営する情報基盤サービスであり、Lアラートへの配信を行う場合、上記団体が定義する「公共commons XMLフォーマット仕様書」「公共commonsインターフェース仕様書」に基づき情報連携を行うこととする。
	1.3.2.災害名検索・照会	災害名から登録されているデータの検索や照会を行う
	1.3.3.団体別検索・照会	団体名(都道府県、市町村、消防本部、施設管理者)から登録されているデータの検索や照会を行う
	1.3.4.時間別検索・照会	日時から登録されているデータの検索や照会を行う
	1.3.5.情報別検索・照会	災害情報から登録されているデータの検索や照会を行う